

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(1) 医療

ア. 救急医療体制の確保

成果指標 (KPI)				R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
救急医療体制の対応日数				365日/年	365日/年	366日/年				365日/年
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】					【今後の取組】		
網走市	365日/年	366日/年	・令和5年度 関係自治体・医師会等と連携し、救急医療体制を維持している。 ・5年間(対象期間)関係自治体・医師会等と連携し、救急医療体制を維持している。					引き続き、持続可能な救急医療体制の確保に取り組む。		
斜里町	365日/年	366日/年	関係自治体・医療機関等と連携し、救急医療体制を維持している。					引き続き、持続可能な救急医療体制の確保に取り組む。		
清里町										
小清水町										
大空町										

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(1) 医療

ア. 救急医療体制の確保

成果指標 (KPI)			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
休日救急体制の対応日数			72日/年	72日/年	73日/年				72日/年
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	72日/年	73日/年	・令和5年度 救急医療を確保するため、医療従事者の確保対策事業及び網走休日急病センターを運営するほか、24時間電話サービス事業でチャットボット機能を活用し、相談しやすい体制を構築している。 ・5年間(対象期間)救急医療を確保するため、医療従事者の確保対策事業及び、網走休日急病センター、24時間電話サービスを実施している。				引き続き、持続可能な救急医療体制の確保に取り組む。		
斜里町	72日/年	73日/年	土曜日・日曜日・祝日担当の出張医師等や関係自治体・医師会等と連携し、救急医療体制を維持している。				引き続き、持続可能な救急医療体制の確保に取り組む。		
清里町									
小清水町									
大空町									

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(1) 医療

イ. 小児科及び産科医療体制の確保

成果指標(KPI)			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
産科医療機関数			3施設	3施設	3施設				3施設
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	2施設	2施設	・令和4年度 公的病院等の運営支援及び医師・看護師・薬剤師確保等の取り組みを実施している。 ・5年間(対象期間) 公的病院等の運営支援及び医師・看護師・薬剤師確保等の取り組みを実施している。				持続可能な産科医療体制の確保に取り組む。		
斜里町	1施設	1施設	旭川医大産婦人科へ医師派遣を依頼、出産時は他院受診としている				旭川医大産婦人科より医師派遣を依頼、出産時は他院受診となる。 引き続き、持続可能な産科医療体制の確保に取り組む。		
清里町									
小清水町									
大空町									

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(1) 医療

イ. 小児科及び産科医療体制の確保

成果指標 (KPI)			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
小児科医療機関数			6施設	6施設	6施設				6施設
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	3施設	3施設	・令和5年度 開業医誘致制度等により、小児科医療体制確保に向けた取り組みを実施している。 ・5年間(対象期間)開業医誘致制度等により、小児科医療体制確保に向けた取り組みを実施している。				持続可能な小児科医療体制の確保に取り組む。コンビニ受診や重複受診を抑制することにより、医療機関の負担軽減を図る。		
斜里町	2施設	2施設	旭川医大小児科へ医師派遣を依頼し、週4日を診療日としている。 町内開業医院でも小児科診療を行っており、国保病院小児科が休診の日や各種ワクチン接種に対応してもらっている。				町内開業医院が令和6年度中に閉院予定であることから、今後の診療体制及び各種ワクチン接種の増加に対応するため、旭川医大小児科へ派遣日数の増加を依頼しているところ。 引き続き、持続可能な小児科医療体制の確保に取り組む。		
清里町									
小清水町	1施設	1施設	小清水赤十字病院に開設された小児科が安定的な運営が図られるよう財政支援を行っている。令和4年6月より、通常診療が火・水・木(第2・4のみ)に縮小されたが、引き続き安定的な運営が図られる体制づくりを支援している。				子育て世代が安心して暮らすことができるよう、小児科医療体制の維持・確保に取り組む。		
大空町									

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(2) 広域観光

ア. 観光振興の推進

成果指標 (KPI)				R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
女満別空港利用者数				46.8万人/年	73.4万人/年	76.8万人/年				100万人/年
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】					【今後の取組】		
網走市	73.4万人/年	76.8万人/年	各種団体などと連携した取組を通じて空港利用者数の増加に取り組むとともに、ひがし北海道各空港地域と連携した国内及び国外観光客への誘致促進施策を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響による観光需要の減退から回復してきた状況にあり、今後は更なるインバウンドの増加等が見込まれる。					女満別空港民間委託の受託事業者（北海道エアポート）や女満別空港整備・利用促進協議会、ひがし北海道空港間の連携、地域連携DMOなどと連携し利用促進・利用者数の増加を図る。		
斜里町										
清里町										
小清水町										
大空町										

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(3) 教育

ア. 生涯学習の充実

成果指標(KPI)			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
ICTを活用した広域講座開催数			3回/年	2回/年	4回/年				8回/年
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	0回/年	1回/年	・一般向けの幼児を育てる親の子育て講演会「子育てに活かす認知行動療法」をハイブリッド形式で開催 斜網地区の会議等において、情報共有事項として周知及びチラシポスター配布 参加者 67名(オンライン22名、会場45名)				・一般向けの幼児を育てる親の子育て講演会を継続してハイブリッド形式で開催していく。 ・ハイブリッド開催が望ましい内容や形式の講座があれば、同様の対応を検討していく。 ・事業広域化のため、情報提供のあり方について適宜検討していく。		
斜里町	2回/年	3回/年	遠隔地からの講師により、関心の高まる講座を開催し、地域とのつながりについて学ぶ取り組みや、高齢者向けスマホ講座などを実施した。				他自治体と連携を図りながら広域講座実施に向けた取り組みを進める。		
清里町	0回/年	0回/年	実施に向け検討をおこなったが、実施には至らなかった。				他自治体と連携を図りながら、広域講座実施に向けた取組みについて検討をおこないたい。		
小清水町	0回/年	0回/年	実施に向け検討したが、実施には至らなかった。				今後は、近隣自治体と協議しながら、どのような取り組みが良いか検討していく。		
大空町	0回/年	0回/年	今のところ実施はしていないが、町内ではスマホ教室などを実施し、町民がICTを活用した広域講座などに参加しやすい環境整備を行っている。				今後は町外の方が受講したら効果的なものについては、ICTを活用し広域的な講座を開催することとする。		

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(4) 環境

ア. 地域ぐるみによる環境関連活動の推進

成果指標(KPI)			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
自治体・自治会主催の地域美化活動の実施回数			346回/年	376回/年	352回/年				371回/年
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	201回/年	161回/年	地域環境美化協定の募集を広報紙で行い、ボランティア清掃及び地域美化活動への支援についてのホームページを更新するなどの周知を行った。				広報紙等を通じて、地域美化活動推進の啓発を行うとともに、ごみ拾い促進アプリ「ピリカ」の導入による清掃活動の参加者の増加を進めていく。		
斜里町	55回/年	33回/年							
清里町	4回/年	18回/年	住民・関係機関・団体等が一体となって、春の雪融け後の環境美化の取り組みをおこなった。				今後も活動を継続的に実施し、清潔で住み良いまちをめざす。		
小清水町	62回/年	63回/年	年2回のゴミゼロクリーン作戦、自治会連合会による花いっぱい運動、各自治会による資源リサイクル活動60回が実施され、地域の美化活動に寄与した。				ゴミゼロクリーン作戦、花いっぱい運動を継続するとともに、資源リサイクル活動を推進していく。		
大空町	54回/年	77回/年	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2類から5類に移行され、公民館清掃や草刈りといった単位自治会主催の地域美化活動がおおむね再開されたため、実施回数は流行前の水準に回復しているものと思われる。				自治会連合会や自治会女性部連絡協議会など関係団体との連携をより一層強化し、住民の美化意識の向上に努める。		

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(4) 環境

イ. 生活環境・衛生環境の向上

成果指標(KPI)			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
汚水・汚泥処理施設を維持			10施設	10施設	10施設				10施設
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	3施設	3施設	・令和5年度実績 汚水量(全体) 4,375,377m3/年 うち 大空町(女満別) 398,962m3/年、大空町(東藻琴) 155,905m3/年 ・令和5年度実績 汚泥量(全体) 2,444.5t/年 うち 斜里町 772.5t、大空町 212.04t				人口減少等に伴い汚水流入量が減少傾向にあるため、今後も施設の継続的な維持管理に努める。		
斜里町	2施設	2施設							
清里町	2施設	2施設	汚水量154キロリットル。				汚水量が減少傾向にあり、今後も施設の継続的な維持管理に努める。		
小清水町	3施設	3施設	小清水町全体の汚水量は324,631m ³ /年 (うち 小清水地区の汚水量293,541m ³ /年、浜小清水地区の汚水量21,143m ³ /年、止別地区の汚水量9,947m ³ /年)				年々人口の減少に伴い、汚水量も減少傾向にある。今後については、最適整備構想や経営戦略を考慮しながら維持管理に努める。		
大空町									

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(5) 防災

ア. 防災対策活動の推進

成果指標(KPI)			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
1市4町連携体制確立のための意見交換及び合同研修の実施			0回/年	1回/年	0回/年				1回/年
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	1回/年	0回/年	1市4町における防災に関する連携体制の確立が図られるよう、防災(災害対策)担当者による意見交換及び合同研修会を持ち回り実施することとしており、大空町での開催予定であったが日程調整が困難となり未開催となった。				防災担当者会議等の場において情報交換を重ね、関係機関との連携を図る。(令和6年度は大空町で開催済み)		
斜里町									
清里町									
小清水町									
大空町									

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(6) 福祉

ア. 福祉サービスの向上

成果指標 (KPI)				R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
中心市における子育て支援センター登録組数				7組	7組	9組				35組
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】					【今後の取組】		
網走市	7組	9組	登録組数は7組から9組と2組増加した。(29%増)					現在の増加数・率が継続しても目標値を達成できないため、登録組数拡大に向けた取組を検討する。		
斜里町										
清里町										
小清水町										
大空町										

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(6) 福祉

ア. 福祉サービスの向上

成果指標(KPI)			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
基幹相談支援センター新規利用人数			65人	66人	63人				90人
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	30人	26人	新規利用人数は前年度と比較すると若干減少してはいるものの、継続して相談している方の人数は増加しており、障がいがある方に対しては、センターの認知度・ニーズは高まっているものと思われる。				引き続き、基幹相談支援センターの取り組み内容など広く周知していくとともに、圏域自治体が設置を進める「地域生活支援拠点」について、基幹相談支援センターを設置後の総合的な窓口とするための取り組みを行っていく。		
斜里町	17人	20人	・新規利用者の多くが介護予防に関する相談であり、個別に支援プランを作成した ・地域の医療機関や福祉サービス事業所との連携を強化し、情報共有と協力体制の構築を進めた。				・介護予防プログラムの充実:介護予防の重要性の啓発、参加者の健康維持・向上を目指す。 ・地域住民との交流を深めるため、定期的な情報交換会や地域イベントを開催する。		
清里町	7人	12人	困難ケース等、専門的な相談業務を実施。家庭訪問での相談支援や、他市町のグループホーム・施設等、相談者に適した事業所の紹介を行っている。				令和6年7月より運営法人が再委託を行い、斜里町の地域活動支援センター内へサテライト事業所が移動となった。地域活動支援センター等と共同し、相談機会の増加や、障がい児者の交流・社会参加の促進を図る。		
小清水町	7人	2人	令和3年8月に1市4町により設置し、障がいのある方やその家族からの相談に応じるとともに、各市町の相談支援事業所等に対する支援等を行い、地域の相談支援の中核機関として総合的・専門的な相談支援を実施している。				1市4町の単位で地域生活支援拠点の整備を図ることとし、その拠点機能を基幹相談支援センターが担い、拠点の持つ機能の具体について検討を進めている。		
大空町	5人	3人	令和5年度における相談件数は、総数1,262件で、対前年度比343件の増加となりました。月平均でも105件となり、前年度・前々年度77件と比較して、大きく増加しました。増加の背景には、令和5年5月からの新型コロナウイルス感染症の法的位置づけの変更も少なからずあったとも考えられますが、大きく伸びている相談経路が「電話」であることから、それが増加の主たる要因とは考えられません。全体のうち、新規の相談件数は67件で対前年度比微減となっていることから、相談件数の大きな増加は、様々な事情により、継続的な対応が必要となる相談事例が増えたことによるものと考えています。 また、新規相談の減少という面では、障がいがある方やその家族、また、支援者に対するセンターの認知度課題があるものと考えます。各種研修や会議にも積極的に参加し、とりわけ、域内自治体の自立支援協議会への参加を通じて、それぞれの自治体での地域課題の把握にも努めてきました。				域内自治体や関係機関と連携して、個別困難ケース等への対応や地域課題把握と解消策の検討等を行っていきます。		

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(6) 福祉

ア. 福祉サービスの向上

成果指標(KPI)			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
認知症サポーター養成人数			8,053人	8,382人	8,628人				9,348人
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	3,746人	3,790人	平成28年度より認知症サポーターに係る事業として「網走市認知症サポーターのいるお店登録事業」を開始。平成29年度からは個人申込みにより参加できる市民講座を開催。令和2年度以降はコロナ禍の影響で各団体からの申込みが減少傾向にある。				引き続き、認知症サポーターの増加を図り、認知症の理解や関心を高め、認知症の人がいつまでも住み慣れた地域で暮らすことができるまちづくりを推進する。		
斜里町	1,949人	2,007人	2024-02-16 斜里町立朝日小学校 33名 2023-11-07 斜里町立知床ウトロ学校 15名 2023-08-29 斜里町国民健康保険病院 10名				認知症についての理解を深め、地域で暮らす認知症のご本人や支援者を温かく見守っていくために認知症に関する講座を行う。 2024-09-14 「認知症講座(仮)」 認知症予防の食事習慣、生活習慣、運動習慣、生活予防について 2024-10-11 「認知症予防体操と認知症相談会(仮)」 認知症に効果的な運動の紹介、認知症に関する相談会を行う 2024-11-13～15 「映画オレンジランプをみよう！Withトコカフェ(仮)」 認知啓発の映画を上映し、合わせて相談会を実施する		
清里町	311人	330人	コロナ禍で養成講習が停滞していたが、令和5年度は2団体で実施。また周知活動を強化し、新たに町検診事業、地域交流拠点施設等でデジタルデータを活用した広報活動を開始した。令和6年度は6月にSOSネットワーク協力事業者の連絡会議と同時開催で協力事業者の方15名へサポーター養成講習を開催済。				令和6年度はオレンジカフェ(認知症カフェ)を町内診療所や町内各所で定期的に開催し、認知症に関心をもっていただき、サポーター講習受講も認知症の理解者として活躍できる場の基盤づくりを開始した。		
小清水町	1,020人	1,045人	平成24年度より認知症サポーター事業を開始。平成28年度より「小清水町認知症サポーターのいるお店登録事業」を開始。平成30年度より、町内医療機関、図書館、商店等を共催により認知症サポーター養成講座を開催し、認知症サポーターの養成に取り組んでいる。				共生社会の実現を推進するための認知症基本法の施行に合わせ、認知症サポーターの増加を図るとともに、認知症の理解や関心を高め、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って、いつまでも住み慣れた地域で暮らすことができるまちづくりを推進する。		
大空町	1,356人	1,456人	前年度同様、職域との連携を図るため、図書館等職員を対象に実施した。また、自治会や老人クラブに前年度から働きかけ、年間予定に組み込まれる形で2回開催。そのほか、一般町民向け講座も2回開催した。				小中学校等でキッズサポーターの養成をしばらく行っていないため、学校からの依頼によらず、町主催のキッズサポーター養成講座を企画していく予定。		

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(7) 産業振興

ア. 圏域経済の活性化と雇用の創出

成果指標(KPI)			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
自治体・会議所(商工会)が支援した起業・創業数(累積)			17件	27件	47件				72件
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	12件	18件	市の起業関連補助金を活用し起業に至った事業者は令和5年度は6件で、目標値に向けた進捗状況はおおむね順調である。				引き続き制度の周知に努めるとともに、商工会議所と連携した創業相談体制を維持することにより経済の活性化を図る。		
斜里町	5件	5件	ビジネスサポートフォローアップ事業を行い、経営改善、課題解決に向けた相談を商工会を通じて行い、町からも支援を実施した。				既存のビジネスサポートフォローアップ事業を継続して行い、新たに創業支援制度を検討する。		
清里町	5件	6件	町内での起業を希望する方への支援を実施。				今後も起業支援などに取り組むとともに、企業誘致による新たな雇用創出などに引き続き取り組む。		
小清水町	1件	12件	令和5年度に補助制度の見直しを行い、補助率と補助上限額を拡充し3ヶ年再延長することで、更なる商業活性化をはかるために補助対象となる要件を緩和し事業継続している。				新たに店舗等を活用し商業を営む者、今後においても継続して魅力ある店舗づくり促進する者に対し、設備投資等への必要な補助金を交付する。		
大空町	4件	6件	役場内の移住定住担当や、商工会との情報共有の中で、新規起業先に対し支援を実施している。				今後においても移住定住担当や商工会と情報共有を行う中で、今後における新たな起業先に対し支援するとともに起業を検討している先に対しても積極的に起業しやすいような環境づくりができるよう取り組んでいく。		

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(7) 産業振興

イ. 水産資源の確保

成果指標 (KPI)				R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
シジミ漁獲量				534t	318t	304t				650t
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】					【今後の取組】		
網走市	318t	304t	R5については、シジミ漁獲量は基準年比57%となった。シジミ産卵不振などによる資源減少から生産計画を減産した。					近年、湖内環境の変動により産卵不振が続く等の要因で資源量が大幅に減少していることから、漁獲調整を継続している。 この問題については、資源が回復傾向にあるものの依然として漁獲対象資源量は低水準であることから、網走湖シジミ資源対策検討会で対策を検討するとともに、引き続き網走湖の環境及び有用資源に関する調査を実施する。		
斜里町										
清里町										
小清水町										
大空町										

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(7) 産業振興

イ. 水産資源の確保

成果指標 (KPI)				R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
サケ漁獲量				10,266t	19,473t	21,782t				13,900t
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】					【今後の取組】		
網走市	7,711t	8,327t	R5については、サケ漁獲量は基準年比159%となり、目標値を大きく上回った。					継続して目標値を達成できるよう、引き続き、沿岸調査、網走東部地区さけます資源対策協議会や広域浜プランにおいて各種調査を実施する。		
斜里町	11,762t	13,455t	R5については、サケ漁獲量は対前年比114%となった。					ふ化増殖事業を始めとした資源増殖対策、資源管理対策に関係者が協力して取り組む。		
清里町										
小清水町										
大空町										

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(7) 産業振興

ウ. 農林業振興の推進

成果指標(KPI)			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
新規農業参入者数(5ヶ年累積)			5人	2人	8人				13人
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	1人	2人	農地の確保等環境に依拠する部分はあるが、希望者への支援制度紹介等を進めている。				新規農業参入者支援事業を進めるほか、就農者を支援する制度を周知していく。		
斜里町	0人	1人	関係機関(町、農協、農業改良普及センター、農業委員会、地域農業者)との情報共有を図っている。				優れた農業経営者又は地域リーダーを育成するため、農業後継者及び新規農業参入者の確保を図る。		
清里町	0人	0人	令和5年度の新規農業参入者数は0人であった。				新規参入者に対する支援を継続していく。		
小清水町	1人	2人	経営開始直後の新規就農者に対し支援金を交付し、農業経営の安定化に寄与した。 また、就農時準備等に要する経費等の情報提供を行い円滑な就農の推進を図り、1名の新規農業参入があった。				新規参入者に対し、就農時準備等に要する経費の一部支援や第三者農業経営継承コーディネートチーム会議などを実施し、円滑な就農の推進を図ります。		
大空町	0人	3人	法人化して第三者継承するケースを進めていたが、立ち消えとなり、現在は新規参入に係る取組は行っていない。				新規参入者の確保に向けた取組は行っていないので、国の施策や先進的な事例を参考とし、検討を進めていきたい。		

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(7) 産業振興

ウ. 農林業振興の推進

成果指標(KPI)			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
農林業の鳥獣被害の減少			—	—	—				鳥獣被害防止 計画による
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	38,418千円	39,186千円	有害鳥獣による農林業被害の軽減を図るため、鳥獣被害防止対策及びハンター数維持の施策により、有害鳥獣の捕獲数は高水準で維持しているが、国有林内での銃猟規制などにより個体数が増加している影響もあり、農業被害の減少に至っていない。 【鳥獣被害防止計画】基準年(R2)37,400千円 → 目標年(R6)33,660千円				鳥獣被害防止対策事業を継続し、国有林内での銃猟規制の緩和を要望するなどして、有害鳥獣の個体数を削減し、農業被害の軽減を図る。		
斜里町	21,933千円	19,314千円	農用地への侵入防止対策(捕獲・駆除、防護柵の点検等)を実施 【鳥獣被害防止計画】基準年(R2)13,642千円 → 目標年(R5)12,960千円				鳥獣による農林業被害を減少させるため、鳥獣被害防止総合対策事業などを継続して実施し、被害額の減少を図ります。		
清里町	11,086千円	11,744千円	暖冬の影響による自然死亡率の低下などから、農林業被害の減少に至っていない。 【鳥獣被害防止計画】基準年(R3)11,114千円 → 目標年(R6)8,446千円				鳥獣による農林業被害を減少させるため、鳥獣被害防止総合対策事業などを継続して実施し、駆除することで被害額の減少を図ります。		
小清水町	128,449千円	163,021千円	令和4年度より継続して、エゾシカの個体数の削減を目的に、農業被害の多い1地区に自動落下式ゲートを使用した小型囲いわな、くくりわな(令和5年度より)による捕獲を行った。 捕獲適地の抽出、地形や環境に即した行動特性の把握をし、地域ぐるみで対策を進め、中長期の視点で継続的に取り組んでいる。 【鳥獣被害防止計画】基準年(R2)84,934千円 → 目標年(R6)76,441千円				鳥獣による農林業被害を減少させるため、鳥獣被害防止総合対策事業などを継続して実施し、駆除することで被害額の減少を図っていく。		
大空町	44,093千円	39,436千円	エゾ鹿の捕獲頭数は、R4:248頭に対してR5:192頭と対前年比で23%減少している。 【鳥獣被害防止計画】基準年(R3)40,770千円 → 目標年(R7)32,616千円				・電気牧柵の活用推進及び正しい設置管理に励行 ・猟友会ハンターに対する手当及び弾丸等経費の支援 ・鳥獣被害対策実施隊の条例改正による隊員の早期確保		

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(7) 産業振興

ウ. 農林業振興の推進

成果指標(KPI)			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
Gp確認ほ場すべての検出限界以下を目指す			330ha	179ha	80.15ha				0ha
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	80ha	27ha	令和5年度の防除により、圃場全面で防除作業が完了した圃場で土壌検診を実施した結果、14圃場(64ha)で検出限界以下を確認した。なお、新たに3圃場(11ha)でGpを確認した。 ※Gp確認圃場922.3ha(223圃場)のうち令和5年度までに895.2ha(216圃場)が検出限界以下(面積割合で97%)。				国・北海道と連携し、Gpの緊急防除に取り組むとともに、蔓延防止対策を行う。		
斜里町	92ha	50ha	農水省、安全局植物防疫課及び北海道による緊急防除を実施し、Gp発生圃場は減少している。				緊急防除によりGpの再発防止、対象圃場面積の減少に努める。		
清里町	7ha	3.15ha	抵抗性品種の植付けなどにより確認ほ場面積は減少傾向にある。				今後も引き続き取組みをおこない検出限界以下を目指す。		
小清水町									
大空町									

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(7) 産業振興

ウ. 農林業振興の推進

成果指標(KPI)			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
農業用水の安定確保(畑地かんがい面積の維持)			20,229ha	20,205ha	20,205ha				20,229ha
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	3,733ha	3,733ha	農業用水の安定確保のため、1市4町で連携し、国営畑地かんがい事業施設(緑ダム等)の維持・管理を行っていく。				引き続き、1市4町で連携し、国営畑地かんがい事業施設(緑ダム等)の維持・管理を行う。		
斜里町	3,238ha	3,238ha	適正な維持管理の実施				受益者ほ場の干害、風害防止や農業活性化を図るため国営畑地かんがい事業施設(緑ダム、頭首工等の共用施設)の維持・管理を行う。		
清里町	4,894ha	4,894ha	畑地かんがい施設の適正な維持管理が図られている。				引き続き農業用水の安定確保を図る。		
小清水町	6,403ha	6,403ha	小規模で受益地の公共転用等があったが、近隣農地へ受益地の移動を行い面積の確保を行なった。				R16年度の水利権更新に向けて今後も受益面積の確保を図っていく。		
大空町	1,937ha	1,937ha	道事業・町事業を利用し末端施設の更新				拡大や老朽化が進んでいる施設等の更新		

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化に係る具体的取組

(1) 地域公共交通

ア. 地域公共交通の維持・確保

成果指標(KPI)			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
日常生活圏域内における中心市を介して往来可能なエリア数			7エリア	7エリア	7エリア				7エリア
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	7エリア	7エリア	自家用車に依存した生活が定着しており、路線バスなどの公共交通機関の利用者数が減少している状況である。 ※7エリア：大空町女満別、美幌、斜里、清里、小清水、大空町東藻琴、常呂				各路線の乗降状況や運営状況などを把握するとともに、新たな交通手段についても研究しながら地域公共交通路線を維持できるように引き続き検討を行っていく。		
斜里町									
清里町									
小清水町									
大空町									

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化に係る具体的取組

(2) 地域内外の住民との交流・移住促進

ア. 交流・移住受入体制の促進

成果指標(KPI)			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
お試し暮らし体験数			13件/年	39件/年	38件/年				17件/年
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	1件/年	3件/年	市公式サイトにおける移住情報の発信などの周知により目標を達成した。				引き続き、制度周知に努めるとともに、より効果的な取り組みについて検討する。		
斜里町									
清里町	24件/年	17件/年	お試し暮らしに供する住宅の一部について、老朽化による解体をおこなったことにより利用数が減少した。				交流人口拡大のため、より効果的な取り組みについて検討する。		
小清水町	5件/年	2件/年	お試し住宅1棟を夏期・冬期料金を設定し運用している。6月～9月0件、11～2月2件の利用があった。				引き続き、制度周知に努めるとともに、より効果的な取り組みについて検討する。		
大空町	9件/年	16件/年	昨年度より利用実績は増えている。50代～70代以上の利用が多い状況。				お試し暮らしから移住につながる例が少ないことから、令和6年度も体験ツアーなどを組み込み、実際の移住に向けたイメージ作りや準備期間として有効に利用していただけるような取組を進める。		

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化に係る具体的取組

(2) 地域内外の住民との交流・移住促進

イ. 交流人口の拡大

成果指標 (KPI)			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
スポーツ合宿参加人数			823人/年	1,196人/年	1,243人/年				1,881人/年
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	983人/年	844人/年	R4は新たに女子プロサッカー2チームの合宿があり、微増に留まった。R5はラグビーの新リーグの日程が1月から5月となり合宿が見込めない中、新たに男子プロ1チーム及び大学1チームの合宿と、引き続き女子プロサッカー3チームの合宿があったが、微減に留まった。				引き続き、合宿競技の関係者と積極的な交渉・協議を行い、要望等を整理しながら誘致活動を継続していく。特に、ラグビーはリーグ開催時期の変更に伴い網走での合宿最盛期までの復調が見込めなくなったが、誘致活動は今後も続け今後の可能性を探る。また、サッカーJリーグ2026-2027シーズンから秋春制開催が決定したことから、事前視察受け入れ及び誘致活動を継続する。		
斜里町	116人/年	114人/年	合宿誘致実行委員会が中心となり、合宿誘致事業に取り組んでおり、合宿事業への支援、地元の協力者や関係機関と連携し、合宿環境の整備を行っている。				斜里町がスポーツ団体やアスリートたちの訓練拠点として注目され、地域振興や交流機会の創出になるよう合宿誘致事業を継続していきたい。		
清里町	29人/年	40人/年	コロナウイルス感染症の拡大により合宿の受入れが途切れていたが、5類移行後は増加傾向にある。				引き続き、合宿競技の関係者と積極的な交渉・協議を行い、受入れを継続していく。		
小清水町									
大空町	68人/年	245人/年	コロナ禍後初めて制限をかけずに実施することができた。誘致している団体はバスケットボール・バレーボール・相撲の3種目である。旅費の高騰や地元の宿泊施設減少により、合宿団体が近年減少している。				団体を受け入れている合宿実行委員会と教育委員会が連携を図り、より質の高い団体受入れを行い、スポーツ教室を通じた町民還元を行う。		

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化に係る具体的取組

(1) 人材の育成 ア. 人材の育成

成果指標 (KPI)				R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
研修会等参加者数				97人/年	147人/年	158人/年				110人/年
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】					【今後の取組】		
網走市	147人/年	158人/年	人口減少社会において、人材育成に関する研修の助成を行っている。(建築技能者等地域定着促進事業:62人、網走職業訓練協会補助金:61人、若年技能者人材育成・地元定着支援事業:19件、中小企業人材育成補助金:16人)					今後も人材育成・人材確保事業を支援し、引き続き人材確保・地元定着の促進を図る。		
斜里町										
清里町										
小清水町										
大空町										

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化に係る具体的取組

(2) 圏域内市町の職員等の交流

ア. 市町間職員研修交流

成果指標 (KPI)				R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
合同研修の実施回数				1回/年	1回/年	1回/年				1回/年
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】					【今後の取組】		
網走市	1回/年	1回/年	職員の資質及び政策課題への対応力を高めるため、合同で政策形成研修を実施した。 (参加者:網走市10名、斜里町2名、小清水町4名、大空町2名)					東オホーツク定住自立圏の構成自治体による合同研修を実施し、職員の能力向上や職員間の交流に取り組む。		
斜里町										
清里町										
小清水町										
大空町										

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化に係る具体的取組

(2) 圏域内市町の職員等の交流

ア. 市町間職員研修交流

成果指標 (KPI)			R3 基準値	R4 実績値	R5 実績値	R6	R7	R8	目標値 (R8)
パートナーシップ宣誓制度に係る担当者会議開催数			0回/年	-	4回/年				1回/年
市町名	R4実績値	R5実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	-	4回/年	パートナーシップ宣誓制度一斉導入のための制度設計および協議のため、合同で担当者会議を開催した。				今後も担当者会議を開催し、より良い制度になるよう情報共有・協議を続ける。		
斜里町									
清里町									
小清水町									
大空町									